

平成30年度音声教材普及推進会議

音声教材BEAMの導入と授業活用



小金井市教育委員会 統括指導主事 平田 勇治

東京都小金井市の概要





みどりが萌える・子どもが育つ・きずなを結ぶ
小金井市



人口 120,618人 (※平成30年4月1日現在)

東京都小金井市の公立学校

小学校 9校 (児童数 5,210人)

中学校 5校 (生徒数 2,104人)

(※平成30年4月1日現在)

東京都小金井市の特別支援教育（I）

固定学級設置校

知的障害特別支援学級	小3校	中2校
自閉症・情緒障害特別支援学級	中1校	

通級指導学級設置校

特別支援教室（自閉症・情緒障害）	小9校	
難聴・言語障害通級指導学級	小1校	
自閉症・情緒障害通級指導学級	中1校	

東京都小金井市の特別支援教育（2）

小学校

平成29年度まで	平成30年度から
自閉症・情緒障害 通級指導学級	特別支援教室
設置校2校	設置校9校（全校）
利用数67人（H30.3.31）	利用数96人（H30.8.31）

ディスレクシアの理解と支援



ディスレクシアの理解と支援（Ⅰ）

平成28年度 「小金井教育の日」講演会 ディスレクシア当事者の体験談

- ・21歳でディスレクシアに気付く
- ・あの時、先生に相談していれば・・・

【知識・理解が先生に必要】



ディスレクシアの理解と支援(2)

平成29年度 特別支援教育研修会

LD・ADHD等の心理的疑似体験プログラム

- ・子供の気持ちを疑似的に体験
- ・授業における支援のポイント

【音声教材BEAMの存在】



ディスレクシアの理解と支援(3)

平成30年度

音声教材BEAM 体験講座



5月15日

保護者・支援者対象

5月17日

学校教職員対象



BEAMを体験

BEAM活用の基礎的環境整備



BEAM活用の基礎的環境整備

◎環境整備に係る負担が少ない

①既存の機器で利用可能(mp3ファイル)

②教育用クラウドサービスの活用(無償)

③教育委員会の申請による事務負担の軽減

【教室で活用できる環境に整備】

①既存の機器で利用可能



小金井市立小・中学校

BEAM
mp3



PC



タブレット型PC



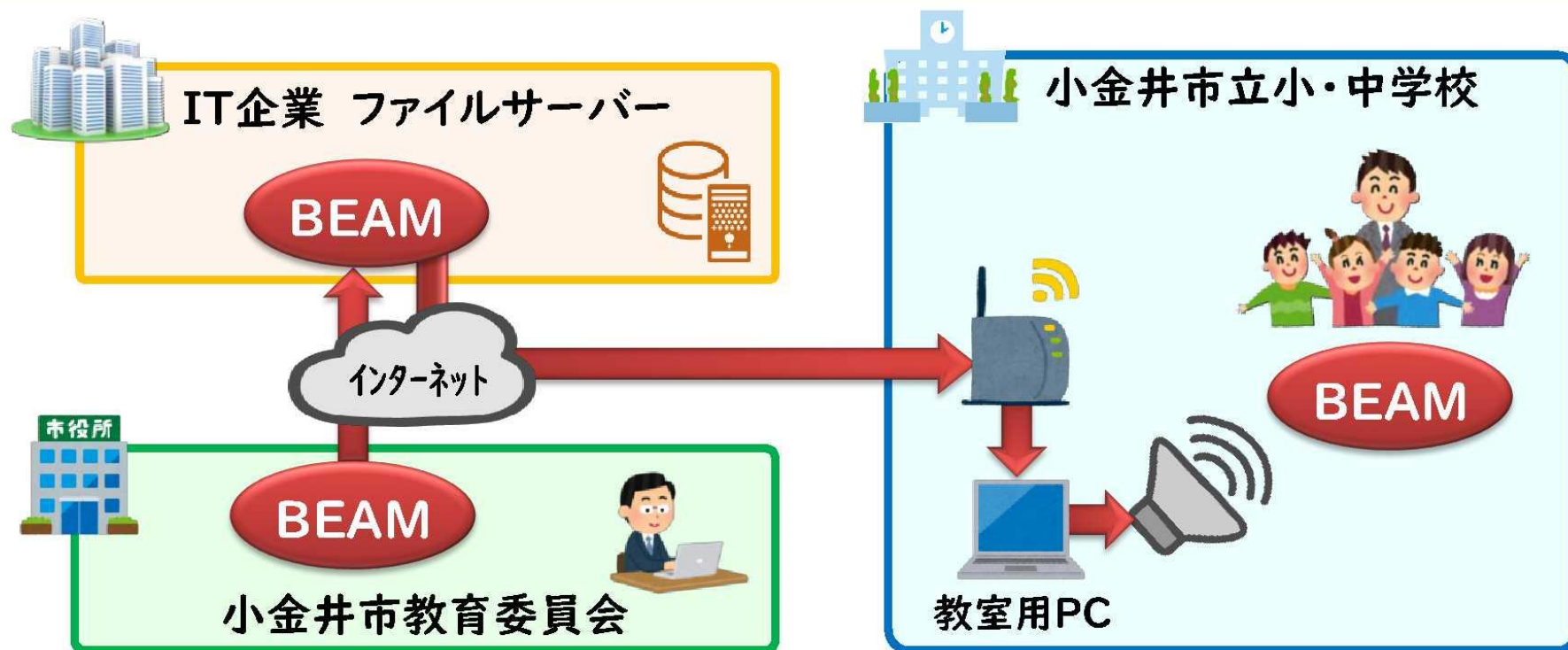
ICレコーダー



音楽プレイヤー

BEAM (mp3ファイル) を再生できる機器がある

②教育用クラウドサービスの活用



総務省スマートスクール・プラットフォーム実証事業
「次世代学校ICT環境」の整備に向けた実証（平成29年～平成31年）

③教育委員会の申請による事務負担の軽減

音声教材利用申請

平成30年度のお申し込みの受付を開始しました。
平成30年度分の配信は**平成30年4月2日以降**となります。

- 音声教材利用申請は保護者・支援者が書き入れてください。
- 必ずご利用を希望する教科書会社と教科、学年、を入力ください。記載がない場合は、お問合せのメールをお送りするため、IDの発行に時間がかかります。
- 申請フォームが表示されない場合や複数の学年でご利用を希望する場合は beam@npo-edge.jp にお知らせください。
(メールを送る場合は@を半角@に変換してお送りください。)

個人向け申請フォーム

【平成30年度音声教材BEAM**個人**利用申請】お申込みフォームはこちらをクリックしてください



教育委員会・学校等の団体向け申請フォーム

【平成30年度音声教材BEAM**団体**利用申請】お申込みフォームはこちらをクリックしてください

BEAMを活用した授業



BEAMを活用した授業（企画）

◎教科書と音声教材を組み合わせた授業

①ユニバーサルデザインの考え方に基づく

②診断を受けていない支援対象児童に届く

③学校と保護者の理解が進む

BEAMを活用した授業（計画）

第3学年 国語（光村図書）

「本を使って調べよう／里山は、未来の風景」

（3時間目／全6時間）

授業日：7月17日



小金井市立前原小学校

BEAMを活用した授業（事前準備）

第3学年 国語「里山は、未来の風景」

教科書の範読

- ①「抑揚」（教師の意図→ユニバーサルデザイン）
- ②「間」（余韻を残す→考え、作業する時間）

【句点1秒、段落2秒の間】

BEAMを活用した授業（実践・前半）

第3学年 国語「里山は、未来の風景」

（問）「未来の風景にしたい里山には何がありますか。」

音声再生時間：8分38秒

児童：教科書にサイドラインを引く

教師：学習支援



音声を聞きながら

BEAMを活用した授業（実践・後半）

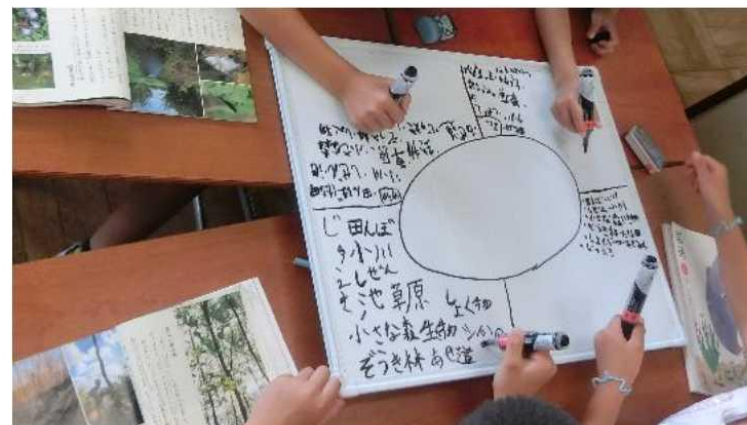
第3学年 国語「里山は、未来の風景」

問題解決のラウンドテーブル

未来の風景にしたい里山には、

- ①
- ②
- ③

があります。



ホワイトボードを使って問題解決

BEAMを活用した授業（成果）

学級の課題

- ・文章をすらすらと読むことが難しい児童
- ・どこを読んでいるかわからなくなる児童

①学習活動をシンプルにする

②範読の時間に支援をする

できそう



BEAMを活用した授業（今後）

音声教材の利点を生かす

①教材研究・授業実践

- ・物語文の読解など

②「次世代学校ICT環境」の整備

- ・必要な支援を受けられる環境の充実